



# 山羊の除角

(独)家畜改良センター 茨城牧場長野支場

日本ザーネン種など体が大きくなる山羊の場合、角は山羊にとっても飼養者にとっても危険です。山羊同士の争いによるケガを防止し、飼養者が安全に飼養管理を行うためにも除角を行いましょう。山羊の除角には、電気除角器(デホナー)を使う方法、薬品(苛性カリ)を使う方法などがありますが、ここでは、当場で実施しているデホナーによる方法を紹介します。

## 角の有無と除角の時期

子山羊の頭部に旋毛が有るか無いかで角の有無が分かります。有角の山羊は、生後1週間程で角が生え始めます。除角は生時体重や発育にも左右されますが、**生後7~10日程度で除角します。**



有角:旋毛有り



無角:旋毛無し

## 必要な道具



デホナー 電気ゴテ

- ・デホナー (チップφ25)
- ・電気ゴテ (先が尖ったもの)
- ・はさみ
- ・マジック
- ・ヨードチンキ
- ・ひも(子山羊保定用)
- ・手袋

## 方法

①デホナーと電気ゴテを十分に加熱しておく。子山羊の両脚を交差させてひもで結ぶ。作業者の股の間に子山羊の頭をはさみしっかり保定する。



②角の周りの毛をはさみで切り、角の中心にマジックで印をつける。



③デホナーの中心が角の中心になるよう、先端が頭蓋骨に当たるまで**5~10秒**当てる。数回繰り返して頭蓋骨に当たったら(白い骨が見えたら)デホナーを横向きにして角芽を焼き切る。



④除角した部分の縁に電気ゴテを当て、皮膚が頭蓋骨に付着している部分をがしながらかき付けていく。除角後、ヨードチンキで消毒する。



## 注意事項

- ・除角は、子山羊の反応や鳴き方に注意して下さい。加熱しすぎるとショック死することがあります。
- ・デホナーが頭蓋骨にあたる感覚は経験により得られるものです。除角初心者は、**できるだけ経験者の指導のもとで行いましょう。**
- ・デホナーは当てすぎないようにしましょう。脳症の原因になることがあります。
- ・出血して止まりが悪い場合は、**電気ゴテで焼くか強く圧迫して血が止まるまで待ってください。**
- ・傷に雑菌が入り化膿することがあるため、**除角痕をよく観察しましょう。**化膿した場合は獣医師に相談し、消毒し抗生物質軟膏を塗ったり抗生物質を投与します。
- ・除角時期が遅い場合や、雄の場合は角芽が広いため**再除角**が必要になることがあります。

↓除角1週間後



↓除角2ヶ月後



当場では、山羊飼養者を対象に除角の見学・個別研修の受け入れを行っています。山羊の除角は実施時期が限られます。受け入れ期間等については、下記までお問い合わせください。

(独)家畜改良センター長野支場 種苗業務課 〒385-0007 長野県佐久市新子田2029-1  
TEL 0267-67-2501 FAX 0267-68-4743 HP: <http://www.nlbc.go.jp/nagano/>